
待ち続けること / 終わること

天下原

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

待ち続けること／終わること

【Nコード】

N8598C

【作者名】

天下原

【あらすじ】

先も見えない暗い部屋で一人待ち続ける。その先に待っているのは、見える未来には光があるのだろうか…。

（前書き）

短いのでサクッと読めます。ただシリアス傾向なので苦手な方は読まれない方がいいかと…。

カチ、カチ、カチ…………。

静かな部屋に時計の音だけが寂しく響く。

部屋の片隅で膝を抱えた私にはその音と腕から伝わる自身の体温だけが生きている証。

暗い、暗い部屋で私は静かに待つ。

何を？——そんなもの忘れてしまった。

何故？——そんなもの忘れてしまった。

何時から？——そんなもの忘れてしまった。

そう、私は何も覚えていない。

ただ待つことだけが記憶に残っている私のすべて。

必要なのは待つこと。ただひたすらこの部屋で。

静かな部屋に寂しく響く時計の音。

カチ、カチ、カチ…………。

そんな孤独感にのみ込まれてしまいそうで、腕に力を込め顔を埋める。

一人は嫌だ。

こんな部屋にはいたくない。

早く。早くここから私を、

連れ出して…。

声に出そうとして、しかし声にできずに息だけが口から漏れる。

私をこの暗闇から連れ出して。

いつも願った。

けれど、いつも叶わなかった。

私はそんな寂しさにも耐えながら待ち続けた。

その先に何があるうとも。

カチ、カチ、カチ……………。

静かな部屋に時計の音だけが寂しく響く。

どんなに時間が経ってもこの部屋に私が待っているものは来なかった。

あれからどれ程の時間が経ったのだろうか。

時計の音はするがもう時計を視認することもできない。

意識が朦朧としていた。

それでも私は待ち続けた。

一人、暗い部屋の片隅で。

しかしそれもどうやら限界のようだ。

心も、体も、折れそうだった。

もう体温を感じることも出来ない。

ただ時計の音だけがやけに鮮明に聞こえて…。

フツ、とその音が消えた。

同時に何かが倒れたような気がした。

気付いたら私は光に包まれていた。暗いあの部屋では感じる事が出来なかったまばゆい光に。

心地よい光に照らされながら私は瞼を閉じる。

今までのように寂しさから逃れるのではなく、肌を感じる温かさをより鮮明なものにするために。

静かな部屋に時計の音だけが寂しく響く。誰もいなくなった暗い静かな部屋に。

カチ、カチ、カチ……。

止まることを知らない時計の音だけがずっと暗い部屋に響いていた。

（後書き）

…根暗街道まっしぐらです。でも個人的には好きな作品だったり…。
最後にどうなったのかという結果は読者さん次第で。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8598c/>

待ち続けること / 終わること

2010年12月20日04時06分発行